

Mマガジン・サポーター (店舗情報の詳細は「音楽好きな友の会」公式サイトにてご確認ください)

- 公共機関
- ・区役所
 - ・会館
 - ・会館
 - ・会館
 - ・郵便局
 - ・郵便局
 - ・郵便局
 - ・郵便局
 - ・郵便局
 - ・放送局
- 元住吉西口(プレーン通り/井田中ノ町商店街通り)
- ・音楽教室
 - ・ダイニングバー
 - ・花屋
 - ・鉄板焼
 - ・ヘアサロン
 - ・カフェ
 - ・果物
 - ・パン
 - ・コーヒー専門
 - ・イタリア料理
 - ・カイロ、整体
 - ・音楽教室
 - ・コインランドリー
 - ・理容室
 - ・接骨院
 - ・ヘアサロン
 - ・デザイン制作
 - ・カフェ
 - ・時計・貴金属
- 元住吉東口(オズ商店街通り)
- ・介護センター
 - ・お茶
 - ・鍼灸院
 - ・介護センター
 - ・古本・CD
 - ・調剤薬局
 - ・飲み喰い処
 - ・イタリア料理
 - ・STEAK
 - ・旅する珈琲屋
 - ・Gステーション
- 元住吉近郊
- ・喫茶室
- 武蔵小杉近郊
- ・紅茶専門店・喫茶室
 - ・蕎麦店
 - ・珈琲店
 - ・喫茶店
 - ・喫茶店
- 東横線沿線
- ・調剤薬局
 - ・写真
 - ・レストラン&バー
 - ・調剤薬局
 - ・カフェレストラン
 - ・ジャズ喫茶
- 中原区役所5Fなかはらっば 中原区小杉町3-245 Tel.044-744-3113
 川崎市国際交流センター 中原区木月祇園町2-2 Tel.044-435-7000
 川崎市生涯学習プラザ 中原区今井南町28-41 Tel.044-733-5560
 かわさき市民活動センター 中原区新丸子東3-1100-12 Tel.044-430-5566
 川崎井田郵便局 中原区井田中ノ町25-1 Tel.044-766-9724
 川崎プレーメン通郵便局 中原区木月1-31-5 Tel.044-455-1800
 川崎木月郵便局 中原区木月住吉町11-12 Tel.044-411-9800
 (改築中)川崎木月大町郵便局 中原区木月大町11-17 Tel.044-722-3617
 かわさきFM 中原区小杉町1-403 武蔵小杉タワープレイスTel.044-712-1791
 メン通り/井田中ノ町商店街通り
 SouleaveMusic School 中原区木月伊勢町10-1三起ビル302 Tel.044-750-8992
 24 Wine&Coffee Stand 中原区今井南町37-13-101 Tel.044-573-3437
 Bianca 中原区木月1-26-19 Tel.044-422-7015
 ゆうぎ亭 中原区木月1-28-16 Tel.044-434-6999
 キャメルヘアデザイン 中原区木月1-32-10 中嶋ビル1F Tel.044-872-7375
 水谷珈琲 中原区木月1-32-16 1F Tel.044-577-4288
 フルッコ 中原区木月1-35-1 Tel.044-433-3338
 リップル 中原区木月3-10-20 Tel.044-863-6554
 MUI (旧もえ珈琲) 中原区木月3-13-2 Tel.044-767-1368
 オステリア ポッカーノ 中原区木月3-17-16 新井ビルB1F Tel.044-411-1003
 ABCカイロプラクティク 中原区木月3-20-16 柳沢ビル1F Tel.044-434-4342
 島倉 学ミュージックスクール 中原区木月3-35-1ART FLATS B1F Tel.044-567-5490
 マンマチャオ元住吉店 中原区井田中ノ町4-1 メゾンアッシュTel.0120-027-217
 Hair Salon Airs 中原区井田中ノ町5-3 関根ビル1F Tel.044-755-0273
 井田名倉堂・栗山接骨院 中原区井田中ノ町6-27 Tel.044-766-0850
 波照間 中原区井田中ノ町8-1 Tel.044-797-5692
 アルケファクトリー 中原区井田中ノ町8-43 Tel.090-4362-5413
 フォレストコーヒー 中原区井田中ノ町33-1 Tel.044-754-1156
 つどとけいてん 中原区井田中ノ町33-2 Tel.044-766-6022
- みずたま介護ステーション元住吉 中原区木月2-2-3 メゾンミール元住吉 Tel.044-430-6963
 金子園 中原区木月2-2-36 Tel.044-411-5877
 和式整体&整心の「響氣」 中原区木月2-3-35 住吉名店センター401 Tel.044-433-2880
 ツツイ 中原区木月2-8-5MKビル1-B Tel.044-431-0027
 凸と凹と 中原区木月2-10-3
 綱島街道薬局 中原区木月2-16-10 Tel.044-750-0374
 粋い仙ん 中原区木月2-20-47 Tel.044-411-8980
 自在屋 中原区木月4-10-6 Tel.044-433-5644
 ステークグラム元住吉店 中原区木月住吉町7-7 Tel.044-433-4129
 cafe OrangeBlue 中原区木月住吉町7-48-101
 ENEOSダイヤ商事 中原区木月住吉町21-1 Tel.044-411-5863
- シンフォニー 川崎市幸区矢上11-1 Tel.044-599-3499
- Tea House ローズマリー 中原区小杉町3-70-4 ホーユパレス1F Tel.044-733-1076
 そば あさひや 中原区小杉御殿町2-42-7 Tel.044-722-1768
 Cafe TEMO(テモ) 中原区上小田中6-1-5 Tel.044-755-8234
 Coffee Spot Life(ライブ) 中原区上小田中6-22-13 Tel.044-722-0024
 ショップ カフェハット 中原区新城1-16-12 Tel.044-788-0116
- 駒沢通り薬局 東京都目黒区中央町2-40-8 Tel.03-6412-7318
 PHOTOSHOP 銀座 東京都港区六本木7-8-4 Tel.03-3408-5406
 Public House びあにしも 川崎区小川町16-15ヒロサビル103号Tel. 044-201-1668
 オレンジ薬局川和町店 横浜市都筑区川和町1218-1F Tel.045-929-1005
 カンファーツリー 横浜市中区海岸通1-1横浜貿易協会ビルTel.045-211-2200
 マッシュマロ 横浜市中区山下町214 巴里堂ビル2F Tel.090-2202-3294

※上記サポーター記載は無料です。

M MAGAZINE 発行人 塚田親一 スタッフ 浅井晴香 TEL 090-9398-2889 2019-3-16-800 Printngkrk

M MAGAZINE

●Motsumiyoshi●Music●Mate●Meet●Memories

4月7日(日) 13:30~
音友会レコード倶楽部
Light Music (軽音楽ファンの集い)
元住吉駅側音友ハウス

4月12日(金) 16:00~
第1回
元住吉ミュージック・
フェスティバル
川崎市国際交流センター
元住吉最大の音楽祭!
10組29名の
ミュージシャンが集結!!

4月21日(日) 13:30~
音友会レコード倶楽部
Jazz Date (ジャズファンの集い)
元住吉駅側音友ハウス

4月23日(火) 12:10~
ランチタイム・
ロビーコンサート
川崎生涯学習プラザ

Haruka Asai

浅井晴香(アサイハルカ)ボーカリスト。学生時代、ラテン音楽同好会に所属しブラックミュージックに目覚める。その後、フォークやブルースの弾き語りやセッションの楽しさを知る。故郷の愛知県ではラテンクラブのママに歌を習いながらバックコーラスなどに挑戦。2015年にマーサ三宅先生のボーカルハウスに入学し、Jazzの勉強を開始。2017年にアコースティックユニット「ハルマツ」結成。現在は元住吉や、高円寺で定期的にライブ活動を行っている。4月12日(金)の川崎市国際交流センターのコンサートも参加します。

Photo: Yoshiro Yasuda

連載03 akkobird's JAZZ-4-U 高橋明子 APRIL SHOWERにはじまり...



▲①Kurt Elling/ April In Paris ▲②Miles Davis/ I'll remember April

ボーカルのakkoです。4月、いろいろなスタートの月ですね。それを応援するかのよう、花が咲き、暖かい日差しに包まれて、明るい気持ちになりますね。

スタンダードの曲の中にも4月がテーマの歌がいろいろあります。今もなお、人気ナンバーは「April In Paris」(写真①)とか、「I'll Remember April」(写真②)とか、思い浮かぶ方が多いことでしょう。

英語圏には「April shower brings May flower」(4月の雨は5月に花を咲かせる)というフレーズがあります。それくらい、4月という、雨が降ることが多い、ということなのですが、この「April Shower」で思い出すのが、20世紀最初のスーパースター!と言われるアール・ジャクソン「April Shower」(写真③)という歌です。情緒あふれる歌詞、それにリズム、メロディに乗せて、豊かな表現で歌っている古い、古い歌です。この歌がきっかけで「Bluebird of Happiness(幸せの青い鳥)」というロマンチックな言葉が生まれたそうですよ!

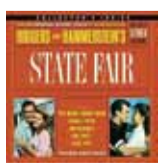
私が冬から春にかけて好んで歌う

曲の一つに「It might as well be Spring」(春の如く)(写真④)という歌があります。「春がやってきたわけじゃないのに、なんとなくぼんやり...まるで微熱があるみたい。」そんな歌いだして始まり、歌い終わるまで、「クロッカスやバラのつぼみもまだ見つけたわけじゃないのに...」といつまで経ってもはつきりした何かしらの「結果」(恋なの?夢なの?誰かに会えたの?)が見えない...でも美しいメロディで紡がれていきます。春ってなんか、そういう季節なのかもしれませんね、ぼんやり、ふわふわ、どきどき、時には漠然とした不安、いろんなバツとしないなんか変な気持ち...さあ、そんなことを悩んでも仕方ない、一緒に幸せの青い鳥を見つけに行きましょう!!!

「青い鳥」に続いてアメリカ人が好きな言葉に「Rainbow(虹)」があります。20世紀に生まれた名曲の一つに「Over The Rainbow」(虹の彼方に)(写真⑤)があります。この歌の中にも「Bluebird」が出てきますね。この「虹」そのものをアメリカの子供たちは大好き!色を覚えるきっかけになる「I can sing a rainbow」(Red and Yellow and Pink and Green)とい



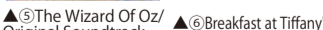
▲③Al Jolson/ April Showers



▲④State Fair/ Original Soundtrack



▲⑤The Wizard Of Oz/ Original Soundtrack



▲⑥Breakfast at Tiffany's/ Original Soundtrack



ラナーソングがあるのですが、私もこの歌、大好きです。もう一つはH.マンシーニ&J.マーサーコンビによる「Moon River」(写真⑥)。ハックルベリーフィンのような友達か虹の下の方でゴロンと昼寝してそうなの?虹の素敵な表現が見つかります。これも美しい名曲です。この歌がお好きな方は、どうぞ、今回の「青い鳥」「虹」につながる美しい歌詞の世界をお楽しみください。

みなさんの好きな春の曲はなんですか?ゆっくり探してみてください。ぽーっとしたこの時期、パタパタいでも新年度始まったばかり。そんな時期だからこそ、自分の時間を大切に~

akko

川崎市生涯学習プラザ 1階ロビー

第76回 ランチタイム・ロビーコンサート

4月23日(火) 12:00開場 / 12:10開演 / 12:40終演予定 / 料金:無料
どなたでも気軽に音楽を楽しめるアットホームなコンサート

【出演】
レ・クロッシュ [Les Cloches] (ピアノ/チェロ)
宇宿真紀子 (Pf) & 宇宿直彰 (Vc)
【プロフィール】
宇宿真紀子と宇宿直彰による姉弟デュオ。「レ・クロッシュ」とは、フランス語で「鐘」の意味。共に幼児期にフランスに渡り、日々教会の鐘の音を聞きながら成長したこと、ピアノとチェロのデュオを二つの鐘の響きの重なり合いにたとえて、命名されました。

【曲目予定】
①V.ベッリーニ: 優雅な銀色の月よ (Vc&Pf)
②J.S.バッハ: 無伴奏チェロ組曲第1番 BWV (Vc) よりプレリュード
③A.ピアソラ: アディオス・ノニーノ (Pf)
④E.グリーグ: チェロとピアノのためのソナタ Op.36より2楽章&3楽章

●お問い合わせ
(公財)川崎市生涯学習財団
総務室企画情報係
ロビーコンサート担当
TEL 044-733-5811
E-mail:concert@kpal.or.jp
川崎市中区今井南町28-41



元住吉最大の音楽祭! 10組29名のミュージシャンが集結!!!

入場無料

M The 1st 2019.4.12 Fri. Motsumiyoshi Music Festival

Venue: Kawasaki International Center Hall

4月12日(金) 15:30開場 16:00開演~20:30終演
第1回 元住吉ミュージック・フェスティバル
川崎市国際交流センター・ホール



音楽好きな友の会
http://ontomo.jp/

「音友会」の活動拠点は「音友ハウス」です。
元住吉駅 西口徒歩1分、フルッコショップ「フルッコ」2F。
中原区木月1-35-1 フルッコビル2F
●レコード倶楽部、コンサートの問い合わせ

090-9398-2889 (担当:塚田) ※「非通知設定」には対応不可。

連載31 私とジャズ 松波陽介 ライブエイド「一億人の飢餓を救う」

新たな季節の始まりです、新年度。今年はどんな年になるのかという期待でいっぱいの時期であると思います。突然ですが、私は美談がとても好きです。加えてこれまでの記事を見てお分かりのように、必ずと言っていいほど話を美しい話で終わらせようとするきらいがあります。(記事を書いている者としてどうかと思うところはありますが…)なのでドキュメンタリー映画なんか見ても必ずと言っていいほど涙は欠かせないし、事実を知っていても泣いてしまうことも多々あります。今月もまた、先月に引き続きクイーンの話から派生していきたいと思えます。

私とクイーンの出会いはライブ・エイドであったという話は先月お話ししましたが、実は「ボヘミアンラプソディー」を見るまでライブエイドの意義や開催の主旨ということに関しては全く知りませんでした。「一億人の飢餓を救う」というスローガンの下、「アフリカ難民救済」を目的として行われたライブエイド、実は私が生まれるちょっと前の1985年の7月に行われたものでした。このライブを提唱したのは「ブームタウン・ラッツ」というバンドのリーダーであるボブ・ゲルドフで、彼を中心としてその呼びかけに賛同した多くのミュージシャンが国やジャンルを超えて参加したライブエイドは1980年代のウッドストックと呼ばれるほどのものでした。(ウッドストックよりも規模的にははるかに大きかったようです、そしてそのウッドストックは今年開催されるようです!)今ではその様子をDVDで見ることもできますし、何より参加しているミュージシャンを見たら本当に驚きの連続

でした。エルビス・コストロ、スティング、U2、デビッド・ボウイ、ザ・フー、フム!、ポール・マッカートニー、ブラックサバス、マドンナ、ニール・ヤング、エリック・クラプトン、レッドツェペリン、ボブ・ディラン…と枚挙に遑がない感じになります。これだけの素晴らしいミュージシャンが一堂に会するという試みがなされたようです。)ライブとはどんなものか、想像がつかませんが、リアルタイムで見えなかったことが本当に悔しくも思いました。インターネットや様々な技術が発達した昨今では世界が小さくなり、より海外との繋がりが身近になってきました。そんな技術がない当時のライブエイドはとても革新的な事、また今後の世界との繋がりを占うかのような出来事であったのかなということを考えさせられました。やっぱり最終的には美談、になってしまいました。(笑)



▲アメリカの会場「ジョン・F・ケネディスタジアム」 ▲イギリスの会場「ウェンブリー・スタジアム」

Jazz & Light Music

音友レコード倶楽部Report ONTOMO MUSIC RECORD CLUB ACTIVITY REPORT

音友会Report 2019年2月音友会の報告

Light Music 軽音楽ファンの集い

昔懐かしいAOR第一弾は ラリー・ジョン・マクナリー

節分の今回は天候に恵まれ、音友ハウス近接の住吉神社では豆まきが行われていました。特集として取り上げたのは昔、青山骨董通りにあった「パイド・パイパー・ハウス」で購入したラリー・ジョン・マクナリーの「Cigarette and Smoke」(写真①)です。タイトルには特に「Cigarette and Smoke」の文字はないのですが、ジャケットのこの気怠い感じはまさにその雰囲気。私の愛聴盤の1つで1981年録音ですから約40年間、ふと思い出す度に聴いている次第であります。彼は伝説のバンドである元フィフス・アヴェニュー・バンドのピーター・ゴールウェイと一緒に演奏をしたり、このアルバムのプロデューサーのジョン・リンドと親交があるようでフィフス・アヴェニュー・バンド一派として注目されたアーティストです。いろいろなミュージシャンに楽曲を提供し、自らも歌う、まさにミュージシャンの中のミュージシャンという事です。このアルバムの印象はというと全体的に曲も聴きやすく、曲によっては根底にブルースの影響が強く感じられ、彼の渋い歌も大変良い感じでした。

彼自身がこのアルバムで演奏するアコースティックギター、アレンジなどどれもとても素晴らしい一言に尽きます。このアルバム以外では貴重なベニー・グッドマンのJOAK (NHKの前身)でオンエアされた対日ラジオ放送録音の「Hello Japan 1937」(写真②)、ヘギー・リーとジョージ・シアリングの共演盤「Beauty And The Beat」(写真③)、ボカライズ・コーラスの代表格であるレイ・コニフの「S Wonderful」(写真④)、イーディ・ゴメの「A Date With Eydie Gorme」(写真⑤)などがかりました。特に「Beauty And The Beat」のアルバムを持参された方は、これが1959年のマイアミにおける実況録音盤ではなく、実はスタジオ録音で、歓声と拍手は後でかぶせて編集したものだということエピソードを紹介されました。見事な録音編集の技と、ヘギー・リー、ジョージ・シアリングの演技力をたたえ、ライブの極上の臨場感が味わえるアルバムでありました。(フレドリック・ジョーンズ記)



▲①Cigarette and Smoke/Larry John McNally ▲②Hello Japan 1937/Benny Goodman ▲③Beauty & the Beat/Peggy Lee, George Shearing ▲④S Wonderful/Ray Conniff ▲⑤A Date with Eydie Gorme/Eydie Gorme

Jazz Date ジャズファンの集い

名立たるジャズ・コーラス・グループが登場!

今回の持ち寄りタイムは、多数の方々がCD、レコードをお持ちになり盛況でした。追悼としてミシェル・ルグラン(2019-1-2没)の名曲「これからの人生」をビル・エバンスが演じているものや、ルグラン自身のトリオによる名盤「At Shelly's Manne-Hole」(写真①)、そして、2019年2月に亡くなられたJAZZ評論家 児山紀芳氏に捧げられたトミー・フラナガンの名盤「Over Seas」(写真②)から「リラクシン・アット・カマリロ」を紹介された言葉と共に、皆さんは感慨深げに聴いていました。一変して爽快なジェイムス・カーターのバスサックスのサウンドには再生スピーカーも驚いたのでは?そして、チャールズ・トリパー(tp)のモーダルで熱い硬派な演奏、ハンプトン・ホーズとスコット・ラファロの共演、改めて音の良さに感心したソニー・ロリンズの大名盤「Saxophone Colossus」(写真③)、ジャック・ティー・ガーデンのデキシーランド・ジャズではジョン・ゴールディのトランペット・ブレイにセンスの良さを感じました。続いてバーニー・ケッセル

の粋なギター・アルバム「Some Like It Hot」と、フランキー・レインの力強いヴォーカル・アルバム「Jazz Spectacular」は「知る人ぞ知る」と言われたものでした。そして心地よいワルター・ワンダラーのハモンドオルガンによる名演「サマーサンバ」に続いて名女優ライザ・ミネリのボーカルで「ニューヨーク・ニューヨーク」(写真④)。バラエティに富み興味深い内容でした。後半のDJタイムは筆者の担当で、ジャズ・コーラス特集。まずは、ジャズ・コーラスを初めてレコーディングしたと言われるボスウェル・シスターズと男性コーラスの草分け的存在のミルス・ブラザーズから始め、メル・トーマのメルトーンズ、シンガーズ・アンリミテッドや日本人のグループ、高名なフォー・フレッシュメン(写真⑤)等々マニアックなものも含め聴いて頂きました。個人的にはDJを担当すると知識が深まるので有意義でした。そして事前に自分で曲を選んでる時間もまた楽しいものです。これからもより多くのジャズファンの参加をお待ちしております。(M.Ohkoshi 記)



▲①At Shelly's Manne-Hole/Michel Legrand ▲②Over Seas/Tommy Flanagan ▲③Saxophone Colossus/Sonny Rollins ▲④New York New York/Liza Minnelli and Robert De Niro ▲⑤The Four Freshmen

4月7日の Light Music 軽音楽ファンの集い

●4月7日(日) 13時30分～「Light Music」(軽音楽ファンの集い) 24丁目バンド
アメリカの人気番組「サタデー・ナイト・ライブ」のハウス・バンドとして結成された24丁目バンド、日本コロンビアより発売された3枚のアルバムからピックアップして聴いていきます。

連載28 4ビートに首ったけ 美しいメロディーは唯一無二! ソロピアノの名手、 キース・ジャレットを聴いてみましょう。

地元マスターのジャズ談話 BIANCA店主 長谷部 徹



▲①My Song/Keith Jarrett

キース・ジャレットが冗談とかダジャレを言っているところって想像できないですよ。真面目な顔をした写真しか見た事が無い。実際に、彼の音楽も隙が無く真面目な印象です。どちらかと言うと、私は隙だらけでいい加減な音楽が好きなので、キースのアルバムはそれ程詳しくは無いのですが、それでも「素晴らしい!」と思って聴いているアルバムが何枚かあります。今日はそんな中から2枚をご紹介します。

まずは1977年録音の「MY SONG」(写真①)。キース・ジャレットはいろいろなフォーマットでアルバムを残していますが、これは北欧出身のメンバーと結成した通称「ヨーロッパ・カルテット」と呼ばれるグループです。このアルバムはちょっと変わっていて、1,3,5の奇数曲は少し実験的で難しい印象なのですが、2,4,6の偶数曲は綺麗なメロディーのとても分かり易い曲なのです。特にお勧めはこの2曲。まずは2曲目、タイトル曲の「My Song」。何と美しい旋律なのでしょう!春の陽ざしのように暖かく、ちょっと切ないキースのピアノがキラキラと輝き、ヤン・カルバレクのサクソが朗々とその物語を歌い上げる、って感じでしょうか?印象に残る1曲です。そして4曲目「Country」。普通、キースと言えば、透明感のある少しクラシック寄りの演奏をイメージするのですが、この曲は題名の通り、カントリーっぽいと言うかフォーク調というか、ちょっと珍しい曲調です。そして限りなく親しみ易く美しい。一度聴いたら忘れられないようなメロディーです。紹介した2曲は、とにかくメロディーが素晴らしい。こんなに綺麗な曲が書けるのなら、もっと一杯創ってくれば良かったのに、と思わずにいらせん。ジャズを聴き始めた方にお勧めしたいのはやまやま

なのですが、1曲おきに厄介な曲が来るんですよ。難しい所です。

次は1998年12月録音「THE MELODY AT NIGHT, WITH YOU」(写真②)です。このアルバムは長い闘病生活を終え、やっとピアノが弾けるようになった時に自宅で録音したスタンダードのソロピアノ集です。全体的に同じテンポ、同じムードで静謐な穏やかな演奏をしています。ただ、このアルバムは、夜、お酒を飲みながらリラックスタイムに聴くだけなのではない。キースはどんな気持ちで演奏をしたのかな?失ってしまった時間への悲しみでしょうか、また演奏できる事への喜びのかな?何か彼の「想い」が詰まっている事は確かだと思います。これを聴いていると、自分の心境が鏡に映っているような気がする。悲しい時、キースのピアノはそっと寄り添うように響きます。嬉しい時は静かに祝福してくれるように感じます。元気がない時は「大丈夫だよ」と励ましてくれるように聴こえる。不思議なアルバムです。「癒し」とか「ヒーリング」と言ってしまうと、薄っぺらな中身の無いBGMを連想してしまいがちですが、このアルバムは違います。本当の意味で「癒される」人がいるんじゃないかな。これは私の極めて個人的な感想ですが、彼は生きてきた事、そして再生した事、周りの人に支えられてきた事、そんな諸々のものに感謝と祈りをこの演奏に込めたのではないのでしょうか。何回も聴いていると、そんな彼の想いがじわじわと伝わってくるような気がします。集中してこのアルバムを聴き終わると、聴く前とはどこか違う場所に立っているように感じます。何かを経験したような、何かをクリアして次のステージに立っているような。。。なかなか貴重なアルバムだと思います。ちなみに好きな演奏は5曲目「My Wild Irish Rose」、9曲目「Shenandoah」です。どちらも「Traditional」となっていますが、古くからある曲なのでしょう。ざわざわと胸が動かされる演奏です。キース・ジャレットのピアノって1音1音が綺麗ですよ。私はピアノを弾かないのでよくわからないのですが、同じピアノでもその人のタッチによって音って変わるのでしょね。綺麗な音はただ聴いているだけで心が癒されますね。



▲②The Melody At Night/Keith Jarrett

Essay 「くじら座」日記 牧野くみ

写真は「くじら座」左、牧野くみ。右、牧野ケント。

一緒に連れてきてしまったもの

アコースティックユニットくじら座の牧野くみです。前回、高校進学の際に悩んだ末コントラバスを選択したというお話をしました。今回はその続きです。中学生から吹奏楽部でコントラバスを弾いていた私は、高校生になり1から新しい楽器を始めるよりは、慣れている楽器でかつ競争率が少ないからステージの回数が多いというメリットでそのまま続けることにしました。メリットって!今振り返って思うのは、楽器が好きとか音楽が好きとかそんなじゃなくて、理由はなんでもいい、ただステージに立ちたかった。居場所が欲しかったんだと思う。部活に通えば、コンクールに出られれば、私がある理由がここにある。当時はそんな自分の気持ちなんて全然わからなかった。けど何をしても誰とも漠然とした孤独みたいな黒いかたまりのようなものがずっと私の中にいて、それは時々大きくなったり小さくなったりしながら輪郭が定まらな

いままで一緒に連れてきてしまった。今は曲を作って歌を歌っています。一緒に連れてきてしまったものは、途中投げ捨てたくなったりぶっ壊したくなったり自分を含めた地球ごと存在を消したいくらい鬱陶しい時もあったけど、それがなければきっと今日まで表現活動が続けてこなかった。曲を作ったのは既存のものじゃ答えがわからなかったのと満たされてなかったからで、毎日がキラキラして順風満帆だったら創作は私の人生に必要ななかったと思うのです。今さら手放すには慣れすぎたので、この際死ぬまで抱えて曲を作って歌ってゆく所存です。



Course Addicted to Guitar-12 永瀬 晋

ジャズの雰囲気体験してみよう

お世話になっております。今月もまたギターを始めたいばかりの方にお勧めなギター小ネタをソウリーヴ・ミュージック・スクール永瀬がお送りいたします。今回はあまり紹介してこなかったジャズネタのご紹介です。ジャズといいますが色々音楽理論など、覚えること満載でとっつき辛いイメージがあると思いますが、まずは一度音を弾いてみて体験してみるのも良いかと思えます。という訳で早速例題をご用意いたしました。このフレーズはジャズで良く使われるコード進行II-V(ツーファイブ)と呼ばれる進行に合わせて作ったものです。実際に弾いていただくとかなりジャジーな雰囲気

を味わっていただけたらと思います。このサウンドがお好みでしたらジャズの世界に入って頂く事は是非お勧めいたします(笑)。

今回はあまり細かい理論はご紹介できませんでしたが、また次回以降にご期待くださいませ!ではまた次回!



ソウリーヴ・ミュージック・スクール SouleaveMusic School http://souleave-music.com/ 元住吉駅徒歩3分、武蔵小杉駅徒歩13分 チケット制 音楽教室 Tel 044-750-8992 AM8:00/PM22:00start

4月21日の Jazz Date ジャズファンの集い

●4月21日 13時30分～「Jazz Date」(ジャズファンの集い) チャーリー・ヘイデンのデュオ・パフォーマンスを聴く! 活動期間中、多くのミュージシャンとのセッションを重ね、数々の名作を残したベーシスト、チャーリー・ヘイデン。今回はデュオ作品を聴くことにより、彼の魅力を探っていきます